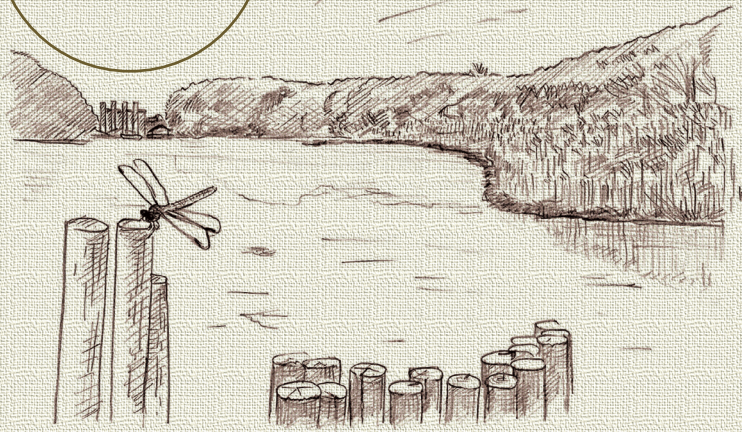


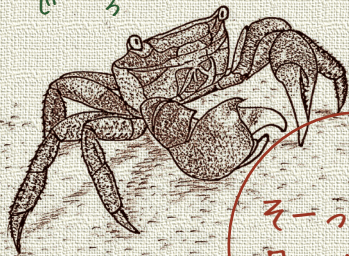
残したい  
大切な自然



森と干潟と海がつながっている

# 小網代の森

こ あ じ ろ



そーっと  
見に行こう



## 小網代の森のこと

かつての三浦半島は今よりも多くの緑や湿地がありましたが、住宅や道路などの開発により失われてきました。小網代の森も昭和45年に市街化区域になり、ゴルフ場や住宅の開発計画が持ち上がりました。しかし、市民による保全活動や、小網代の森が源流から干潟まで連続して残されている貴重な自然環境であることなどを受け、県は三浦市や開発を計画した京浜急行電鉄株式会社と、小網代の森の保全を含めた土地利用について調整を進めてきました。平成7年に農地造成や宅地開発及び緑地保全などを含めた三戸・小網代地区の土地利用方針を関係者に提示し、理解と協力を得ながら、かながわトラストみどり基金により緑地の買入れを進めました。平成17年には無秩序な市街化から守るよう近郊緑地保全区域に指定され、その後、用地の買収と園路等の整備が完了したことから、広く環境学習の場として活用されることになりました。



この森は関東、東海地方で唯一、集水域の森林、河川、湿原、干潟が開発されずに連続して残されている自然環境と言われています。森、川、海のつながりが必要なアカテガニをはじめとして2千種とも言われる多くの生きものが棲んでいます。かつては薪炭林として利用されてきたことから、コナラなどの落葉広葉樹林が多いものの、常緑樹が混じるようになり、流路の固定化などにより低地の乾燥化や外来種の侵入も進んでいます。流域全体の生態系を保全する視点に立って、湿地の再生や外来種除去など、生物多様性の保全・回復に向けた取組に尽力してきたNPOをはじめ、地域住民や多くの市民、企業などと手を携えながら地域の宝として小網代の森を次の世代へ引き継いでいく必要があります。



## 三浦市観光ポイント

三方を海に囲まれ、一年を通じて温暖な三浦市。  
美しい景色やおいしい魚料理などで迎えてくれます。

MAP



### ①小網代湾

横堀海岸・胴網海岸などプライベートビーチのような雰囲気が漂う海岸があり、海のアクティビティを楽しむことができます。  
※写真はスケルトンカヤック、スタンドアップパドル (SUP)

<https://www.riviera.co.jp/miura/>



### ②リビエラシーボニアマリーナ

国際環境認証「ブルーフラッグ」をアジアで2番目に取得した会員制プライベートマリーナ。富士山を眺めるオーシャンビューレストランと、ラグジュアリーなグランピング施設は、一般も利用可能で小網代の森からの利用者に人気。シーボニアアライズが有名。電話：046-882-1212



### ③うらり・うらりマルシェ

1階の「さかな館」では三崎のマグロや地魚をはじめ水産加工品や惣菜など、2階の「やさい館」では、農産物などが購入できる産直センターです。  
電話：046-881-6721



### ④県立城ヶ島公園

三浦半島の最南端に、首都圏では数少ない島があります。相模灘に突き出した緑の島、城ヶ島です。この島の東半分には広がるのが、県立城ヶ島公園です。園内や周りの岩礁地帯では、大洋に面した島ならではの光景を目にすることができます。電話：046-881-6640

ACCESS

京浜急行久里浜線終点三崎口駅から徒歩約30分、または①番・②番バス乗り場乗車、「引橋」下車徒歩5分、または「シーボニア入口」下車徒歩約15分  
※駐車場は引橋バス停近く、三浦市民交流拠点駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

- 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター みどり課  
横須賀市日の出町 2-9-19 横須賀合同庁舎内 電話：046-823-0210 (代)  
※詳細は神奈川県ホームページをご確認ください
- 神奈川県環境農政局 自然環境保全課  
横浜市中区日本大通 1 電話：045-210-1111 (代)



20名を超える団体で小網代の森を利用される場合は、事前(1か月前を目途)にNPO法人小網代野外活動調整会議(045-540-8320)および横須賀三浦地域県政総合センター環境部みどり課(上記)までご連絡ください。

# 小網代の森 ガイドマップ



## 森で見られる動植物

写真提供：NPO 法人小網代野外活動調整会議



**アカテガニ**  
陸地を好む不思議なカニですが、産卵（放仔）には海に下りる必要があるため、森-川-海のつながりが必要です。



**チゴガニ**  
白いハサミを振り上げかわいらしいダンスで求愛、なわばり宣言する干潟を象徴するカニです。



**ノコギリクワガタ**  
ご存知、カブトムシと並ぶ子ども達の遊び相手で国内に広く分布する代表的なクワガタムシ。



**ハマカンゾウ**  
海岸性のキスゲの仲間。東日本大震災で海岸の生息地が破壊されましたが、NPO により保護増殖が進んでいます。



**モンキアゲハ**  
日本最大級のチョウで、関東以西に生息する南方系のチョウ。幼虫はサンショウ類、ミカン科の植物が食草です。



**ジャヤナギ**  
本州から九州の湿地に生える落葉広葉樹で雌雄異株ですが、雌株だけが知られています。

小網代の森の出入口は引橋入口、宮ノ前峠入口、北尾根入口の3箇所です。上流の引橋から河口へ向かう谷の斜面にはコナラの林が広がり、谷筋のジャヤナギの林が夏には涼しげな木陰を提供してくれます。

谷が開けたオギやヨシ群落を過ぎると、干潟が広がり、チゴガニなど色々なカニが潮の満引に応じた営みを見せてくれます。

森-川-海のつながりを保つことが、多くの生きものを育むうえで大切であるということが分かってきています。



## 小網代の森で活動中!

公益財団法人  
**かながわトラストみどり財団**



都市近郊の身近なみどりから、箱根、丹沢などの山のみどりまで、行政や市民団体と連携し、良好な自然環境を次の世代へ引き継いでいく「かながわのナショナル・トラスト運動」を推進しています。小網代の森の保全を支援するトラスト会員や寄付金を募集しています。トラスト会員は普通会費(2,000円)に小網代の森への緑地保全支援会費(3,000円)と合せて年間5,000円からのご支援をお願いします。会員になると機関誌「ミドリ」の発行や施設の優待などが受けられます。

電話:045-412-2525 www.ktm.or.jp



**えのきてラス**  
谷が開けたオギやヨシの群落の一角に大きなエノキが木陰を提供する場所に休憩できる場所としてテラスを設けました。干潟を眺めたり、谷を渡っていく風の音に耳を傾けたりしながら、譲りあってご利用ください。



**小網代の森インフォメーションスペース**  
ベイシア三浦店2階の市民交流センターの一角に小網代の森インフォメーションスペースがあります。季節ごとの自然やかながわトラストみどり財団の情報が揃っており、小網代の森について学ぶことができる施設です。お気軽にお立ち寄りください。

## NPO 法人小網代野外活動調整会議



平成10年に設立され、同17年に法人となりました。アカテガニのビオトープ整備や湿地地回復作業、生物調査など自然環境の創出・保全管理や環境教育の推進により、小網代の森の保全管理に大きく貢献しています。

## 京浜急行電鉄株式会社



京急グループは、自然豊かな「小網代の森」の保全を応援しています。森と干潟と海を感じる事ができる小網代の森へは、電車・バスをご利用ください。

- **注意**
- 散策路以外は立入禁止です
- ごみは持ち帰りましょう
- 火の使用は禁止です
- 動植物は持ち帰らないでください
- スズメバチ、ヘビに注意
- ペットは入れません
- 自転車・バイクは乗入れ・持込みは禁止です